看護かごしま

Nursing Kagoshima

http://k-kango.jp

2018.Autumn Vol.173

コスモス満開（写真協力：鹿児島県南薩地域振興局）

◆鹿児島県看護協会業務執行理事近況報告 …… 2
◆2019 年度　公益社団法人鹿児島県看護協会　役員・推薦委員並びに
2020 年度　日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員の公募について　3
◆地域医療を支える看護師特定行為シンポジウム …… 4
◆平成 30 年度四職能・災害看護検討委員会合同会議 …… 5
◆鹿児島県看護協会会員施設代表者会議のご案内 …… 7
◆性教育研修会～ LGBT について～
◆支援ナースの第一歩（オンデマンド）実施しました。
◆看護職の有償ボランティアの応募状況及び活動について
◆平成 30 年度 入会受付中です！！ …… 8
◆2019 年度（平成 31 年度）継続のご入会について
◆会員特典のご案内「ハーモニーランド無料ご招待」 …… 9
◆地区だより「鹿児島地区」・「大隅地区」 ……10
◆ナースセンターだより ……13
◆理事会報告 ……16

平成 30 年度鹿児島県看護協会会員数

保健師	433 名
助産師	384 名
看護師	10,473 名
准看護師	714 名
合計	12,004 名

平成 30 年 10 月 13 日現在

公益社団法人鹿児島県看護協会　業務執行理事近況報告

公益社団法人
鹿児島県看護協会会長　田　畑　千穂子

コスモスが揺れる季節を迎えております。皆様にはお変わりありませんでしょうか？　今年の前半は、西日本豪雨、大阪地震、北海道地震と相次ぐ大規模な自然災害に見舞われました。被災されました方々の早い復興をお祈りいたします。

厚生労働省は、看護職員を取り巻く状況の変化及び現在の教育実態を踏まえ、将来を担う看護職員を養成するための看護基礎教育の内容と方法について、具体的な検討を行うことを目的とした「看護基礎教育検討会」を平成 30 年４月に設置し、４つのワーキンググループ（保健師、助産師、看護師、准看護師）で、卒業時の到達目標、教育内容・方法、教育体制、教育環境などを検討しております。次世代の看護を担う基礎教育の在り方への重要な会議であります。日本看護協会は、指定規則改正にもつなげたいと全国３カ所で「看護師基礎教育を考える会」を開く予定です。皆様とともに注視していければと思います。

さて、本会は今年度、①地域包括ケアシステムの推進、②看護職の確保・定着と働きやすい環境づくりの推進、③看護の質向上及び看護職の役割拡大、④地区支部活動の推進、⑤組織強化に向けた会員サービスの強化と会員増など５つ重点事業に取り組んでおります。上半期には、19 年ぶりに開催できました専任教員養成講習会、新たな認定看護師制度に向けたスペシャリスト交流会、特定行為研修シンポジウム、看護政策推進事業の一環で 7 地区の評議員の皆様との意見交換会などが開催できました。また、重要な２つの調査（継続教育に関する調査、鹿児島県内の医療機関に勤務する看護職の労働環境に関する調査）も実施できました。年度内の報告に向けて進めてまいります。

また、来年度の第 50 回日本看護学会―慢性期看護―学術集会に向け、メインテーマが「慢性期かんごの幕明け～共に奏でる～」と決まりました。慢性に関わる保健・医療・福祉の連携によるチーム医療の推進に看護職の果たす役割は大きく、「看護」をわかりやすい言葉で伝え、生活者としての慢性期の患者を長期的に支えるには、自らの専門性を高め、職種間の調和へとチームを動かしながら、看護実践活動に活かされることをねらいとしました。演題登録は 2019 年 2 月上旬から始まります。県内からより多くの研究発表をお願いするとともに学会の準備に向けても、本会が一つとなって全国からの参加者をお迎えできますように、皆様のご支援とご協力をお願いしたします。

最後に、本会員が 12,000 名（９月現在）を超えました。下半期に向けて、地区役員の皆様とともに、ネットワークの拡充に努めてまいります。更なる皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人
鹿児島県看護協会専務理事　原　田　ケイ子

本年は台風が 1 週間ごとに鹿児島をはじめ日本列島に甚大な被害を与えています。また、大阪府、北海道においても震災があり未だ復興にいたっていませんが、皆様方におかれまして被害はありませんでしたか。被害に遭われた会員・御親族の方には心よりお見舞い申し上げます。本協会の災害対策としまして、昨年度は冊子「分娩施設における災害対策マニュアル」、「災害支援ナースハンドブック」、「鹿児島県看護協会災害対応マニュアル」の改訂を行い、会員の皆様に冊子やホームページ等を通じて情報提供に努めています。さらに本協会の事業継続計画（BCP）も新たに策定しましたが、その具体的な物品の整備について準備をすすめているところです。本年度の新規事業でありました 4 職能委員会と災害看護検討委員会合同会議（本広報誌に詳細を掲載）を 8 月に実施し災害時における活動体制の強化に努めているところです。後半も災害支援ナース倍増計画として推進していますので沢山の方の登録をお願いいたします。

さて、平成 30 年度上半期の主な取組を紹介いたします。理事会・運営委員会・常任委員会・特別委員会等も各設置目的に則り，計画どおり運営されております。昨年度から鹿児島県の受託事業である「鹿児島県訪問看護供給体制推進事業」は４つの事業がありますが「訪問看護事業者実態調査検討委員会」、「訪問看護理解･連携促進事業」については関係機関の協力をいただきながら現在実施しているところです。また、「訪問看護事業者によるサービス提供体制強化事業」や「医療・介護事業者ターミナルケア促進事業」も下半期に実施できるよう関係機関や講師依頼など準備を進めています。

また、本年は日本看護協会の受託事業である「看護政策推進のための組織強化事業」も、新たに明治維新 150 周年も意識した入会案内のチラシを広報委員会で企画し 3000 部印刷し、各理事の協力を得ながら施設訪問等で活用していただいています。昨年度から本協会ホームページに会員専用ページを設置し、講師の承諾をえました研修資料を公開していますので是非とも御活用ください。

下半期は、本年度未実施事業の推進を着実に進めるとともに、来年度の事業計画案策定等も行っていくこととしておりますので皆様方の御意見・御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人
鹿児島県看護協会常任理事　内　司　啓　子

平成 30 年度の教育研修では、フィジカルアセスメントや認知症対応力向上研修、入退院支援等多くの方々に受講して頂いております。

今年はじめて「看護研究活動の支援」研修を開催し、大変好評でした。ノーベル賞を受賞した本庶佑特別教授は、研究で大事なのは「好奇心」と「自分の目で確信できるまでやる」と語っていらっしゃったのが印象的です。看護研究によって、知の創造を生み出し、看護の質の向上に貢献できるよう研究の力を共に育む環境づくりの一助になれば幸いです。

日本看護協会では、６月より受講履歴管理システムが稼働しています。キャリナースの未登録の方は、是非登録し活用してはいかがでしょうか。

また、「働き方改革関連法案」が成立し、推進する動きの中で新たな課題もでているようです。社会経済福祉委員会では、看護職のＷＬＢを推進し働き続けられる職場環境作りや看護職の安全と健康を守ることを目的に活動しています。10 月に「医療機関に勤務する看護職の労働環境に関する調査」を実施しております。結果を公表し、皆さまの施設の参考にして頂けるよう取り組んで参ります。

ナースセンター事業では、地域ハローワークにおける就業相談を「大隅」「伊集院」と増やして相談員の方々の御協力を頂き、相談に来られる方々の便宜を図っております。

また、医療・看護安全対策検討委員会では、７地区の医療安全ネットワーク会における交流を図りながら多職種連携による医療安全への取り組みについて情報交換しつつ、推し進めていく予定です。

引き続き、皆さま方のご支援をよろしくお願いいたします。

2019年度　公益社団法人鹿児島県看護協会　役員・推薦委員並びに 2020年度　日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員の公募について

2019 年度鹿児島県看護協会役員・推薦委員並びに 2020 年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員は、2019 年 5 月の通常総会において選出されます。次年度（2019 年度）に改選される役員・委員並びに 2020 年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員について公募を行いますので、立候補される方は次の要領で届け出てください。

役職名	公募数
保健師職能理事	1名
看護師職能Ⅰ理事	1名
看護師職能Ⅱ理事	1名
地区理事（川薩）	1名
地区理事（姶良伊佐）	1名
地区理事（大島）	1名
監事	1名

○公募する役員・推薦委員会委員・代議員及び予備代議員は次のとおりです。

委員名	公募数
推薦委員	7名

○正会員５名以上の推薦が必要です。（定款施行細則第 14 条）

○立候補届出書に必要事項を記入し、提出してください。

2020年度日本看護協会通常総会

代議員・予備代議員	公募数	摘　　要
代議員	7名	各地区から1名
予備代議員	7名	

※日本看護協会代議員は、会員数により人数が決められます。今後、日本看護協会から依頼がありますが、代議員数に変更があった場合は、ホームページや平成31年1月発行予定の「看護かごしま」に掲載します。

届出用紙・届出先・届出期間

・届出用紙は、鹿児島県看護協会ホームページからダウンロードして下さい。
・届 出 先：〒890-0064　鹿児島市鴨池新町 21-5
　　公益社団法人鹿児島県看護協会選挙管理委員長宛
・届出期間：平成 30 年 11 月 1 日～平成 31 年 2 月 20 日
・照会先等：電話　099-256-8081　ホームページ：http://k-kango.jp

※立候補者、推薦委員会からの推薦を受けた者いずれも総会２週間前には会員に公表します。

今回は、広報委員が２つの研修会に参加し、取材してきました

1 地域医療を支える看護師特定行為シンポジウム

2018 年 8 月 18 日、地域医療を支える看護師特定行為シンポジウムに参加させていただきました。シンポジウムは「看護師のタスクシフトを考える」をテーマとして、講演をはじめシンポジウム、パネルディスカッションと多岐にわたる内容でした。参加者は 150 名を超え、病院の看護部長、訪問看護師、看護学生などの参加が見られました。

厚生労働省は 2025 年問題に向けて「特定行為研修修了生 10 万人」と掲げていますが、現在の終了生は 1006 名（鹿児島県 30 名）となっています。超高齢化社会における在宅医療などに特定行為看護師の必要性や期待される働きを改めて知ることができました。

研修を受けやすい制度が整いつつあることも今後、特定行為看護師を目指しやすい環境になっていくと考えられます。また、現在の認定看護師制度も、手順書による特定行為の実践、認定区分の再編が議論され、新しい認定看護師教育が開始されていること知りました。鹿児島県は

へき地、離島もあり特定看護師の必要性を改めて感じる機会となりました。

シンポジウムの中で特定行為研修を修了した看護師が行う医療行為は、看護の現場で普段から目にする事例を同じ看護師の視点で指導をしてもらえるため、スタッフのスキルアップにもつながると思いました。特定行為研修を修了した看護師の活動の裏では特定行為の委員会の立ち上げ、手順書の作成、周囲への周知、医師との連携など準備が重要であることを知ることができました。

スタッフのロールモデルになりたいというモチベーションが高い意見や、医療の質の向上など個人のみでなく病院全体の看護力の向上を目指していることがわかりました。

チーム医療のキーパーソンとなる看護師としての役割が「今」変化してきています。医師の数に対し離島やへき地の多い鹿児島で、在宅の医療行為として専門性の高い医療・看護の提供の道が広がってきています。

参加者数名の方にご協力をいただき、お話を伺いました。
1．職種は何ですか？
2．参加したきっかけは何でしたか？
3．参加してみてどうでしたか？
4．今後どうしたいと思いましたか？

Aさん
1．看護学生（4 年生　今年度卒業）
2．学校でお知らせがあったので参加しました。
3．「特定看護師」は講義で聴いていたが、直接、臨床現場での意見が聞けてよかった。興味がわいてきた。
4．高齢化社会になっているので、在宅看護も視野に入れていきたい。

Bさん
1．訪問看護師
2．「特定看護師」という言葉は知っていたが、内容などの情報が欲しかった
3．鹿児島県では急性期領域での取り組みをしているようであり、また、研修期間などを考えると今の職場では無理かもと思った。鹿児島県で受けられる研修は急性期領域であり、今の在宅の職場ではなかなか活かすことができないと思う。
4．慢性期の分野を鹿児島県が取り入れるようになったら考えてみたい。しかし、組織を動かすのは難しいかもと思った。

Cさん
1．救急認定看護師
2．認定看護師と特定看護師との違いを知りたくて参加
3．確定したことはまだ無く不透明だと感じた
4．救急認定看護師としてどう活動していくか考えたい

これから多方面の分野で多くの特定行為研修を修了した看護師の方が活躍されることと思います。
リーダーシップをとりながら働いている姿が目に浮かぶようでした。

2 平成30年度四職能･災害看護検討委員会合同会議

地域で起こりうる災害を，みんな考えよう　～ 地域での災害ネットワーク作り ～

平成 30 年 8 月 25 日（土）鹿児島県看護研修会館にて「災害看護」をテーマに「四職能・災害看護検討委員会合同会議」を実施しました。保健師 28 名，助産師 9 名，看護師 79 名，准看護師 3 名，その他 2 名，合計 121 名の参加がありました。また，四職能委員会，災害看護検討委員会で企画し，委員 20 名も当日の運営，グループワークのファシリテーターとして活動しました。

県看護協会田畑会長のあいさつでは，災害支援ナースを自施設から育て，地域の中で活躍するコーディネーターを育てることが災害への備えになるため，災害支援ナース倍増計画への協力を呼びかけました。

研修内容

1　災害看護の基礎知識
　～災害時に求められる災害支援活動～
　講師：国際医療福祉大学大学院
　　保健医療学専攻　災害医療分野
　　教授　石井　美恵子　氏
2　地域別グループワーク
　「自分の地域で起こりえる災害を考えよう」

災害看護の基礎知識
～災害時に求められる災害支援活動～

石井美恵子先生の講演では，実際に災害現場での体験を交えながらお話しを聞くことができました。普段の災害への備えの重要性や災害後の目標復旧レベルを実現する為の対策の点検や更新の必要性を学ぶことができました。

また，先生の講演を聞き，自分自身で出来ることを考える機会を得ることができました。

グループワークでは，地域別に集まり自分達の地域で起こりえる災害について，また自施設での問題等について活発な意見が交わされました。
アンケートより「地域毎のグループワークが情報交換につながった。」「他施設の取組を知る機会になった。」「災害支援の体験者の話が参考になった。」等の声がありました。
患者さんを守り，自分自身を守り，地域を守る事ができるよう，自分達に今できることを実践していましょう！！

四職能・災害看護検討委員会合同会議
テーマ「地域で起こりうる災害を、みんなで考えよう～地域での災害ネットワークづくり～」

広報委員として取材して

災害看護の基礎知識「災害時に求められる災害支援活動」についての講義でした。災害サイクルにおいてトリアージは超急性期の活動となります。災害時にニーズを減らし、資源を増やすことが最も重要であり、災害本部のなすべき役割となります。普段、看護師はＰＤＣＡサイクルで仕事をしているため、災害時の活動においては看護の強みが発揮できると言われました。経験を積み重ね、判断力をＵＰし行動に移す。そして、ニーズを最小限にするための日々の事前対策が不可欠です。
事前対策として被災時の状況をイメージしリアリティのある訓練を行い、資機材を常備していくことが災害発生時のニーズを最小限にし資源を最大限に活用できることにつながっていきます。さらに地域に視野を広げ、子供・高齢者にも対応した防災計画を住民とともに作っていかなければならないことを学びました。
地域別グループワークの中では、実際の災害支援に参加された方の意見も聞かれ、各地域で災害が発生した場合の対応を検討していました。
四職能が集まることで地域、医療、助産の立場で考えることができ、どのように繋げることが大切なのかをイメージできました。
国際的に活躍される石井美恵子先生の講義は、災害が法律的にどのように位置付けられており、行政の中の医療機関としての役割の学びも多くあり非常にわかりやすい内容でした。その中で、実際に先生が実践された活動内容が紹介され、災害時の日々変化する状況に応じて医療機関も対応することの重要性が分りました。災害現場の最先端で活躍されている石井先生のことば一つ一つに重みがあり、心に響く研修となりました。

平成 30 年度鹿児島県看護協会会員施設代表者会議のご案内

日時：平成 30 年 12 月 22 日（土）午前 9 時 30 分～正午
場所：鹿児島県看護研修会館　3 階大研修室
内容：１）看護協会の動向　　田畑会長・原田専務理事・内司常任理事　　9：30 ～ 10：00
①新たな認定看護師制度について
②看護師の特定行為研修について
③第 50 回日本看護学会―慢性期看護学会―学術集会について
④キャリナースの登録状況及び活用について
⑤「とどけるん」について
⑥災害対策について
２）看護職の働き方改革について　　10：00 ～ 10：50
鹿児島県医療勤務環境改善支援センター
医業経営アドバイザー　　渡辺　一郎　氏
３）看護職の賃金モデルについて　　11：00 ～ 12：00
公益社団法人日本看護協会　労働政策部　専門職　岡戸　順一　氏
①病院で働く看護職の賃金のあり方に関する考え方
②看護職の賃金体系モデル
③多様な人材を活用するための賃金処遇

★お申し込みは 12 月 10 日までです。
ホームページにも掲載しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。

性教育研修会～ LGBT について～

性教育推進事業支援委員会

2018年7月28日（土）に、高田病院泌尿器科医師の内田洋介先生と鹿児島医療福祉専門学校専任教諭の山之口千佳先生をお迎えして「ＬＧＢＴ」について、ご講演いただきました。
また、講演後シンポジウムを行いました。参加者の皆さんから、「今後、小・中学校で性教育を行う上で、どのように講演を進めていったらよいのか」等の不安に思っている事や、お二人の先生方への質問、「自分の周りにはいないと思っていたが、先生方の講演を聞いて、実は気付こうとしていなかったのかもしれません」など、本日の講演に関する感想や考えなど、活発な意見交換が行われました。
お二人の先生方、そしてご参加くださった皆様、ありがとうございました。
参加者：33 人（看護師 11 人、助産師 11 人、保健師 1 人、検査技師 1 人、学生 9 人）

災害支援ナースの第一歩（オンデマンド）実施しました。

災害検討委員会

2018年9月27 日・28日、2 日間研修を行いました。
参加者80名でしたが、台風の影響により76名に修了証をお渡ししました。
所属施設承諾の必要性があり、この研修終了者の災害支援ナース申請数はまだわかりません。ひとりでも多くの方の申請に繋がりますよう委員会一同願っております。

看護職の有償ボランティアの応募状況及び活動について

パワフル age 委員会

定年退職者及び早期退職者の方等で、看護職のキャリアと余暇を生かし、県民への相談や看護協会が行う研修事業等に御協力できる方を「看護かごしま」本年 1 月号とホームページで募集しましたところ 9 月末現在、31 名の方に登録していただきました。
7 月5 日には、登録された方々に「今の社会に求められるボランティア活動」と「最新の救急医療看護の知識」を受講していただきました。
その後、早速、イベントの救護や研修会のサポートに延べ 4 名の方の協力をいただきました。未登録の方で、今後登録を希望される方は本協会までご連絡ください。

平成30年度 入会受付中です！！

まだまだ30 年度のご入会も受け付けておりますので、入会をご希望される方・申込用紙の不足などは ☎099-256-8081 鹿児島県看護協会 会員管理担当 までお問い合わせください。

2019年度(平成31年度)継続のご入会について

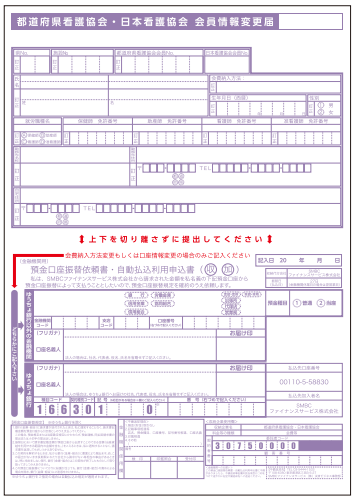
「2019 年度(平成30 年度)継続のお知らせ」が日本看護協会より１１月中旬以降に随時発送されます。その前後に、鹿児島県看護協会より新規・再加入用の用紙をお送りさせていただきますので、不足の場合はご連絡ください。

【施設取りまとめの方へ】

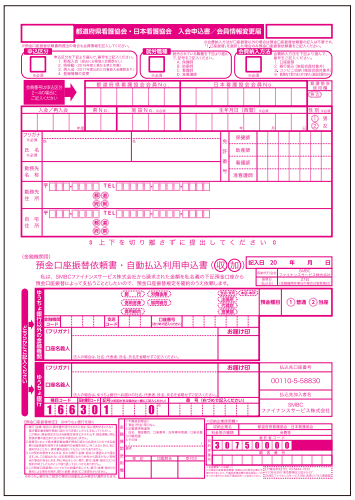
Step1； 「2019年度の継続のお知らせ（封書）」を会員へ配布してください。

Step2； 印字されている「会員情報」「口座情報」に**変更のある方**または「口座振替依頼書」が**不備の方のみ**のご提出となります。
変更のない方はご提出は不要です。

Step3； 記入した送付状と、**提出が必要な会員の封筒を集めて、**まとめて梱包し、私書箱に送付してください。



2019年度の継続申請書



新規・再加入の用紙

★注意★
2019年度の継続申請書は藤色、新規・再加入の用紙はピンク色になります。
2018年度の茶色の用紙は使用できませんので、ご注意ください。

新規作成！！「入会のご案内」パンフレット

看護協会入会促進の為、右記の通りパンフレットを作成しました。表は桜島を形どり、見開くと看護への道が桜島を登るように、中高生から管理者・スペシャリストまで続いています。裏には、入会手続きについて、訪問看護ステーション・ナースセンターの案内、会員サービス特典を掲載しています。

これを持ちまして、看護協会役員一同、会員獲得に励んでおりますので、皆様のご入会、お待ちしております！！

期間限定

公益社団法人 鹿児島県看護協会 主催事業

期間中【2018年12月15日(土)～2019年1月14日(月・祝)】に限り

サンリオキャラクターパーク ハーモニーランド

無料ご招待

【会員とそのご家族様 対象】

入園+アトラクション利用のパスポートチケット(通常1名2,900円)が無料！

※一部アトラクションは別料金となります。

《営業時間》※入園は閉園の1時間前まで

★印が夜間営業日

- 10:00~17:00
- 10:00~18:00
- 10:00~19:00 ★
- 10:00~20:00 ★
- 10:00~21:00 ★
- 休園日
- 本企画は対象外

2018年 12月の営業時間

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	★15	★16
17	18	19	20	21	★22	★23
24★31	★25	26	27	28	★29	★30

2019年 1月の営業時間

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
	1	2	★3	★4	★5	★6
7	8	9	10	★11	★12	★13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

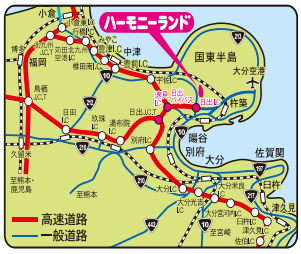
イベント情報など詳しくはHPで! ハーモニーランド 検索

Harmonyland

大分県速見郡日出町大字藤原5933番地

日出I.Cから約2分! (国道10号線沿)

アクセスMAP



ご利用方法

下記利用申請書に必要事項をご記入の上、必ず「鹿児島県看護協会会員証または電子会員証」と一緒にハーモニーランドチケット売場に提示してください。入園とアトラクション利用のパスポートチケットをお渡しいたします。

※「利用申請書」のみの提示、または「会員証」のみの提示では本企画をご利用できません。必ず、「利用申請書」「会員証」の2つを一緒に提示してください。

※企画内容・利用申請書の記載方法に関しては、協会窓口へお問い合わせください。TEL:099-256-8081

©'76,'91,'01,'09,'18 SANRIO

切り取り

鹿児島県看護協会 会員専用 ハーモニーランド利用申請書

【対象期間】2018年12月15日(土)~2019年1月14日(月・祝)

(会員代表者を含む7名様まで)

P307

会員番号　　氏名

利用申請者(4歳以上の方) ※4歳未満の方は無料となりますので記入不要です。	氏 名	氏 名	氏 名
●会員番号は会員様のみ記入	氏 名	氏 名	氏 名

ご利用日　　月　　日

※お名前の記入欄が不足する場合は「利用申請書」をコピーしてご利用ください。

ご利用者合計数(4歳以上)　　名様

お買い物・お食事でもお得な特典が！ 園内で使えるお得なサービス券を、ご来園時にプレゼント！

地区だより

鹿児島地区

看護職の連携強化～声かけあって仲間を増やそう～

教育委員会の活動

鹿児島地区教育委員会では、研修受講者一人一人の内発的動機付けが行えるような研修をめざし、その者達が研修で得た知識や技術を実践することで、鹿児島地区全体の看護の質を高めていけるような研修をめざしております。対象となる受講者のニーズを把握することに努め、より魅力的な教育の企画・運営を行っていきたいと思います。

委員長　有島　みつる

医療安全情報ネットワーク委員会の活動

医療安全管理者の質の向上、活動に関する知識の蓄積・普及、および医療安全に関する意見交換、集約を行うことを目的として、平成30年度は40施設45名が参加登録され、年４回の会議を開催いたします。医療安全管理者が抱える問題は多岐にわたります。今年度は、医療安全の更なる質向上を目指して、医療安全対策地域連携加算が新設され、新たな取り組みが加わりました。当会議が医療安全管理者間の交流・情報交換、問題解決への足掛かりとなり、日々の活動に役立つ会議にしたいと思います。

委員長　　図師　裕美

地域ケアサービス委員会の活動

鹿児島地区の地域ケアサービス委員会は、地域に根ざした看護協会活動を目指しています。９月１日には多数の医療機関や多職種の方々の協力をいただき、「まちの保健室」を開催しました。日頃の健康管理を見直す機会の提供を目的としていますが、毎年楽しみにして下さる方もいる当委員会のメインイベントで、233名の方に来場頂きました。今後は10月に市民健康まつり、11月におはら祭りなど地域開催のイベントに参加し、地域に貢献していきたいと思います。

委員長　成　美智代

出版規約委員会の活動

私達は鹿児島地区の事業内容を看護かごしま及びホームページへ掲載し、地区活動の拡大と広報活動を行っています。皆様に閲覧・活用して頂けるようなホームページを作っていきたいと思います。ぜひご覧ください。

委員長　木場　夏子

【ホームページの閲覧方法】

① 鹿児島県看護協会ホームページを検索
② ホームページ内のお知らせの地区活動をクリック
③ 見たい活動内容をクリックしてください

大隅地区　大隅の活動　～OOSUMIへようこそ　～

大隅地区集会

日時：平成30年6月30日（土）開催
講演：「子孫からみた西郷隆盛」
講師：株式会社ナンシュウ 代表取締役 西郷 隆夫先生
参加者：地区集会109名　特別講演会124名

鹿児島県看護協会会長 田畑千穂子様にご出席を頂き、平成30年度大隅地区集会を開催致しました。地区集会終了後の特別講演では、参加者から、「先生の幼少期からの歴史の中で、親とはどうあるべきか?子はどうあるべきか?リーダーとはどうあるべきか?人としてどうあるべきか?姿勢・思考共に考えさせられ、共感・感動を頂いた。」などと多くの意見が聞かれました。講演をお聞きし、人と人のつながりや家族関係、リーダーシップや看護管理などユーモアを交えながら興味深く聴講する事が出来ました。また、人生楽しく生きたい、今後の人生を考えなおしたいと思わせるような内容で今後の活力につながったひと時でした。

大隅新人看護職員多施設合同研修

卒後1年目研修：平成30年7月14日（土）
目 的：大隅で働く看護職員同士の連帯感を高める
参加者：新人63名2年目看護師7名 プリセプター4 名 教育・OST委員9名合計83名で開催いたしました。

<アンケート結果から>

他施設の方と悩みを話し合うことで解決策を見出すことが出来た、みんな悩んでいることは同じだと思うと安心した、など悩みの解決法や新たな課題が見つかったなどの前向きな意見が多く聞かれました。

次回研修予定：平成30年10月6日（土）

卒後2～3年目の看護師を対象に『在宅支援』について研修を開催予定です。

介護支援専門員・退院支援看護師を講師にお招きし、学習を深めていく予定です。

OST：近間 眞由美

医療安全ネットワーク活動紹介

大隅地区医療安全ネットワーク活動を開始し9年目となりました。13施設が参加し，相互の情報共有・ラウンド・研修等を通し，看護の安全・医療事故防止対策に努めています。

今年度より診療報酬で新設された医療安全対策地域連携加算についても取り組みを始めています。

初回のラウンドをネットワークメンバーも参加し，9月18日に実施しました。

【医療安全相互ラウンド風景】

教育委員会活動紹介

平成30年度の大隅地区教育委員会は、専門職能としての社会貢献、看護職確保、地域包括ケアシステムにおける看護職の役割の強化を目的に掲げ、4回の研修会開催を予定しております。8月25日には第1 回の「脳卒中リハビリテーション看護」が開催され、46名の方に参加して頂きました。脳卒中リハビリテーション看護認定看護師2名を講師に迎え、脳卒中患者の摂食機能障害や廃用症候群の基礎やアセスメント、看護の展開を事例を通して学び、参加者より「事例がありわかりやすかった。」「早期離床の大切さを改めて学ぶことができた。」といった意見を頂きました。今後、第2回は10月に「感染管理」、第3回は11月に「認知症看護」、第4回は2月に「フィジカルアセスメント」を予定しております。大隅地区の看護の質・技術の向上を目指し、邁進して参りたいと思います。

（委員長：木場　大）

地域ケアサービス委員会

大隅地区地域ケアサービス委員会では、地域のイベント開催時に救護活動や健康相談の活動をしています。今年の4月には「エアメモリアルin かのや 2018」にて救護活動と“まちの保健室”での健康相談を実施しました。総来客数約23,000人の方が来場され、健康相談には、近年の健康志向も手伝い270件に及ぶ健康相談を受ました。地域の方々とのふれあいの中で、「前も来てたね!ありがとうね!」「測定してもらったり、相談にのってもらうのを楽しみにしています。」との有り難い声も頂けました。また「血管年齢が何歳だった。食事は何を注意したらいいかな?」などの相談もあり、毎年の活動で、地域イベントへの看護協会の協力イメージも定着し、地域の皆様との交流の場となり頼りにされている実感があります。

8月に開催された「かのや夏祭り・夏の納涼花火大会」には救護活動を行いました。幸いにも重度となる救護者もなく無事に活動を終えることができました。今後も9月から11月にかけて、近隣市町村のイベントでの救護活動と健康相談に参加していく予定です。

活動においては、地域ケアサービス委員だけでなく、各施設から快く応援人員を派遣していただく協力体制もできており、会員施設の施設長をはじめ、実際に派遣人員として活動していただいた会員の皆様に深く感謝を申し上げます。今後も大隅地区看護協会の絆に感謝しながら、地域貢献に繋げていければと考えています。

（地域ケアサービス委員会 委員長：柿元　淳子）

「エアメモリアルin かのや 2018」“まちの保健室”での健康相談の様子

大隅地区看護管理者情報交換会・看護を語る会

看護管理者の情報交換会「大隅の看護を語る会」を開始し2年目を迎えました。この会は、大隅地区の病院・施設の看護管理者だけでなく、看護学校・大隅地域振興局保健福祉環境部等の参加があり、日々の管理者の悩みや問題、情報収集・共有等を行って大隅地域の課題に取り組んでいます。今年度は、看護管理者に対する研修を計画しておりますので楽しみにお待ち下さい。

ナースセンターだより

Vol.126

潜在助産師再就業支援セミナーのご案内

助産師の資格を持ちながら、再就業に不安をお持ちの方のために、
復職に向けての「再就業セミナー」を開催します。

開催日時：平成 30 年 12 月 8 日～平成 31 年 2 月のうち 6 日間
12/8（土）12/9（日）1/19（土）
1/20（日）2/2（土）2/6（水）

場　　所：（講義）鹿児島県看護研修会館
（実習）中央助産院

受講資格：助産師の資格を持ちながら現在就業してない方
就業 1 年未満の新人助産師の方

申込期間：平成 30 年 11 月 1 日（木）～ 11 月 15 日（木）

申込方法：鹿児島県ナースセンターまで郵送・メール・来所にて
お申込ください。
（申込用紙は鹿児島県看護協会ＨＰよりダウンロード）

受 講 料：無料（但し諸経費として 3000 円を初日に徴収します）

【講義内容】

- 母体・胎児の健康診査
- 助産記録
- 正常分娩の助産診断技術
- 新生児のフィジカルアセスメント
- 胎児心拍モニタリングの判読
- 陣痛促進剤の使用方法
- 母乳栄養の理論
- 助産倫理
- 実習
- その他

訪問看護管理者研修

平成30年9月15日（土）
受講生29名（管理者20名）

テーマ『訪問看護ステーションの運営・管理について』～訪問看護の質の向上を目指して～

講師：野崎 加世子先生（岐阜県看護協会立訪問看護ステーション 高山）

＝受講動機より＝
①管理3 年目。迷うことがよくある。現状を振り返り，運営・管理に活かしたい。
②1月から管理者に。知識を深めたい。
③管理とは何か?日々，自問自答しながら仕事をしている。しっかり，学びたい。
④何をどう管理すればよいのか?わからない状況。“知りたい”と思った。
⑤パワフルな先生の元気をもらいたい。⑥講師に興味があった。

受講生の声

①管理者とは何か?少し感じ取れたと実感した。
②事例を通しながらの講義がわかりやすかった。良く理解できた。
また受講したい。パワーをもらった。
③スタッフの質向上，人材育成はとても役に立った。限られた中でのケア提供方法の見直しも大切。
④自身のステーションの役割や計画的に進めること，育成，訪問看護師として大切なことなど，学び・考えることが多かった。

⑤管理者としてどうあるべきか模索中で，研修会へ参加する余裕もなかった。楽しみに参加。
⑥他の管理者と情報共有でき，良かった。
⑦“具体的に出来そうだ”と勉強になった。
⑧辛いのは一人じゃないと‥笑って頑張っていければいいと思うことが出来た。
⑨しないといけないことばかりですが，前向きに頑張っていきたいと思った。解りやすく，興味深く聴けた。
⑩訪問看護はやっぱり“いいな”と思った。
⑪訪問看護の実際をたくさん聞けた。大変だと思うが、やりがいもあると感じた。

施設における再就業支援研修のご紹介

7 月の再就業支援セミナー受講者をサポートする中で、採血以外の看護技術面の研修機会を模索していたところ、田上記念病院で再就業支援研修を実施していただけることになりました。研修希望者と面談の上、具体的な研修計画を立てていただきました。ご紹介した藤江さんが 9 月から元気に研修勤務中です。今回は田上記念病院での再就業支援の取組みを紹介します。

県内各地で再就業支援研修を受けていただける施設を募集中です。受け入れ可能な施設はぜひご連絡ください。

田上記念病院では、「せっかくある自分の資格を活かしたい」、「ブランクがあるけど看護職として働きたい」という方への看護技術研修を中心とした看護職員の再就業支援を開始しました。

☆看護職としての復帰準備～技術習得を中心に～

再就職プログラムは技術面の研修に加えて、現場での看護実践も体験していただきます。そのために研修期間中は当院の職員として雇用されて給与も支給されます。

私は、看護師免許を取得後、一般病院で２年間勤務し結婚と子育てのために約１０年間臨床現場から離れていました。今回、打ち合わせの中で希望の研修/勤務開始日や期間、日程、研修内容について一緒に検討して自分にあった計画を立案していただきました。

私の場合は、3か月間の研修期間となりました。研修/勤務開始となり、丁寧な指導をいただきながら日々学んでいます。演習後に実際の現場で実践したときは、指導者が常に一緒ではありますが「看護職として仕事をしている」と実感できました。今後も学びを深めて、看護職として患者様に自信をもって技術提供できるようになりたいとさらに強く思うようになりました。

藤江千夏
研修/勤務
週2～3日
9 時～13 時

研修 / 勤務の流れ

8：50　病院内託児所へ
9：00　研修開始
・e-ラーニングを用いた学習
（看護手順書・技術動画）
・資料、動画内容の振り返りと確認
・演習後に現場での実践と振り返り
13：00　研修 / 勤務終了

☆看護職としての勤務の中で学ぶ

～オーダーメイド研修～

日勤のみを希望する看護職員も常勤で雇用しています。所属病棟で勤務しながら技術研修に参加していただけるように環境を整えています。

私は、看護師免許取得後すぐに病院での勤務経験もありましたが、その後は有料老人ホームで勤務していました。医療施設で勤務することはないだろうと思っていましたが、子育て中の看護師でも仕事と育児を両立しながら働きやすい環境と聴いて就職しました。

新入職者チェックリストに沿ったオリエンテーションと技術面での支援を受けることができています。決められた項目だけでなく希望も聞いていただけます。胸痛時に十二誘導の必要な患者様がいたので相談して技術指導を受けました。これからも看護職として学びを深め、医療施設の中で患者様に寄り添った看護をしていきたいです。

轟木加代子
常勤･日勤のみ

新入職者研修終了後の流れ

8：30　・個別の予定表に沿った病棟業務
・業務の合間に技術指導
17：30　研修 / 勤務終了

☆看護職として復帰して3ヶ月経過しました。

私は、約10 年間看護職を離れていました。今回、子どもが社会人となったことや親せきの勧めもあり、看護職として再就職を決めて、9 時～13 時半まで病棟で勤務しています。配属された病棟は雰囲気も人間関係も良く、勤務しやすい環境です。説明する人で指導内容が違ったために質問すると、その後、病院内での手技統一に努めてくださいました。

入職して3 ヶ月が経過して、輸液管理や酸素療法、吸引などの看護技術の実践に慣れてきたと思います。しかし、人の命をお預かりする仕事なので常に確認を怠らず、患者様の不利益になるようなことが起こらないように気をつけています。次は、患者情報をしっかりアセスメントして個別性のある看護計画を立案･実施していけるように学びを深めていきたいと思います。

医療療養病棟勤務　松田奈緒美

☆教育担当者からのメッセージ

看護管理部教育部長　安藤美佐

私は、昨年4 月より田上記念病院の教育部長として看護および介護職員の教育全般を担っています。就職先決定までは、「とどけるん」への届け出、e ナースセンターのシステムを活用した就職活動を行いました。約20 年の臨床経験を経て、教員として1 年間勤務しました。短い期間でしたが現場から離れ、自分の看護手技に不安を覚えたことを思い出します。

教育部長として日々の活動で大切にしていることは、職員一人一人の特性を見極めて個々の成長に寄り添うことです。今回①e-ラーニングを用いた学習→②演習→③現場での実践、の流れで看護技術について学べるようにしました。再就業支援を希望される方々の気持ちに寄り添いながら、個々にあった学び方を一緒に考え、少しでも自信をもって臨床現場に復帰できるように支援していきたいと考えています。

☆副院長兼看護部長からのメッセージ

看護職の資格を持つ人の中には、結婚や子育てのために離職され、生活が落ち着いたら再び看護師として働きたいと望んでいる人も少なくないと思います。しかし、看護技術面に不安がある方もおられると思います。そこで、田上記念病院において、離職した看護職員の復職を支援する研修を開始しました。看護技術を中心とした研修で基礎から学べる内容となっています。皆さんの看護職として働きたい気持ちに寄り添いサポートいたします。

興味のある方は、是非見学に来てください。お待ちしております。

副院長兼看護部長
大津　秀子

【問い合わせ先】
田上記念病院
〒890-0033
鹿児島市西別府町1799 番地
TEL 099-282-0051
FAX 099-282-6600
E-mail:
hideko_otsu@shunpukai.com

再就業支援セミナー

ブランクのある看護職の復職支援に向けて、「再就業支援セミナー」を開催します。7 月に開催された第 1 回の受講生のうち、未就業者 12 名中半数の 6 名が、病院や老人ホーム・健診などのお仕事で再就業されました。

今回、第 2 回のセミナーを 11 月に開催予定です。復職に不安を抱えている皆さん、セミナーを受講して再び看護師として踏み出してみませんか？

【受講対象】未就業または再就業後 1 年未満の看護師、准看護師、保健師、助産師
【開催日時】平成 30 年 11 月 13 日～ 14 日及び見学実習（21 日）
※見学実習は施設都合により日程変更する場合有
【そ の 他】受講料無料（諸経費として 2500 円）
※申込書は看護協会ホームページからダウンロードできます。詳細はナースセンターまでお問い合わせ下さい。

平成30 年度 ふれあい看護体験報告

今年度も看護の日の記念事業として、「ふれあい看護体験」が5月と夏休み期間に実施され、573 名参加しました。（昨年度より79 名増）

実施施設におかれましては、お忙しい中工夫をこらした体験を準備して下さりありがとうございました。今回体験した中から、未来の看護師がひとりでも多く誕生することを願っております。

実施施設　４６施設
体験者　５７３名
小学生　　７１名
中学生　　４４名
高校生　４３３名
一　般　　２５名

実施施設からの感想

・今回の体験を通して多岐に渡る看護業務への驚きや、小さな気づきが大事であることがわかったなどの感想を聞くとともに、スタッフにもよい刺激になった。
・看護職や医療職を目指したいという体験者が、施設見学・看護体験を通して、これからの進路を検討する上での貴重な体験となったと考えます。また、看護師が実際に働く姿を目の当たりにした事で、体験前より看護師希望の気持ちが高まっていたように思います。

体験者からの感想

・手術室に入って手術する服装になったり、ベットメイキングをしたりと沢山体験をさせてもらって、看護師として働きたいという思いが強くなり、受験の糧にしたいと思った。
・体験で一番大変だったことは、患者さんとの会話の話題を探すことだった。
・生まれたばかりの赤ちゃんを抱きミルクを上げられたことは、本当に貴重な体験でした。
・血圧、酸素濃度測定、心臓の音を聞くなど実技をすることができ、自分がしたい仕事を再確認することができた。理想の看護師になれるように一生懸命頑張りたい。
・車椅子に乗ったり、手指衛生を学んだりして、直接患者さんの身体に触れるには、衛生面がとても大切であることを改めて感じた。
・ドクターカーに乗ったり、ヘリポート見学など本当に貴重な体験をさせていただけました。

「とどけるん」：届出状況

2015 年 10 月～ 2018 年 9 月までの届出状況
全国 77,359 名　鹿児島県 1,447 名

【e ナースセンター】：求人・求職登録状況

平成 30 年	6 月	7 月	8 月	9 月
求人数（人）	713	706	672	627
求職者数（人）	400	381	395	410
就業者数（人）	57	38	43	40

鹿児島県ナースセンター

〔看護師等無料職業紹介所　４６-ム-０１０００２〕

◆相談窓口◆　※予約不要
相談日：月～土　午前９：００～１２：００
午後１：００～　４：００
（土曜日は３：00 まで）

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町 21-5
TEL：099-256-8025
FAX：099-256-8079
mail：kagoshima@nurse-center.net
ホームページ　http://k-kango.jp/

理事会報告

第３回　理事会
日時：平成 30 年 7 月 14 日（土）13:30 ～ 15:40
16 名出席

◆ **協議事項**
1　基本方針
1）平成 30 年度鹿児島県看護協会通常総会を踏まえての事業展開等ついて
2）県知事への要望書について
3）平成 31 年度地域医療介護総合確保基金に係る事業の提案について
2　事業推進に関する事項
1）平成 30 年度看護政策推進のための組織強化事業の実施について
・評議員会の情報提供・意見交換会の内容及び出席者について
・アウトリーチ活動について
・入会案内媒体作成について
2）4 職能委員会及び災害看護検討委員会合同会議の開催準備について
3）その他
3　管理的事項
1）地区別法人会及び地区役員研修会の準備及び講師等について
2）平成 30 年度役員・職能委員・特別委員会委員について
3）職員の退任について
4　会員支援
1）ナースシップ及びキャリナースの周知について
2）鹿児島県看護協会ホームページ会員専用ページの周知について
3）日本公衆衛生協会長表彰候補者の推薦について

★ **報告事項**
1　基本方針
1）日本看護協会通常総会・全国職能交流集会の開催について
2　事業推進に関する事項
1）教育事業について
2）看護職員就業相談事業について
3）県総合防災訓練について
4）看護の日記念行事について
5）慢性期看護学会の準備状況について
・準備委員会及び事務局の設置等について
6）訪問看護理解連携促進事業について
7）訪問看護実態調査委員会報告
8）看護師の継続教育の実態調査の進捗状況について
9）その他
3　管理的事項
1）理事会・運営委員会議事録について
2）その他
4　会員支援

第４回　理事会
日時：平成 30 年 9 月 15 日（土）13:30 ～ 17:00
17 名出席

◆ **協議事項**
1　基本方針
1）平成 31 年度の教育計画につい て
2　事業推進に関する事項
1）平成 30 年度看護政策推進のための組織強化事業について
・評議員会開催状況について
・各地区の施設訪問予定について
2）施設代表者会議開催（案）について
3　管理的事項
1）九州地区法人会及び連絡会の協議事項について
2）特定資産の運用について
4　会員支援
1）平成 31 年度改選役員・推薦委員並びに平成 32 年度代議員及び予備代議員の公募について
2）その他

★ **報告事項**
1　基本方針
1）平成 31 年度予算に係る知事への要望書提出について
2）認定看護師制度再構築に関する制度設計（案）
2　事業推進に関する事項
1）教育事業について
2）保健看護学会の運営について
3）看護職員就業相談事業について
4）訪問看護理解・連携促進事業について
5）訪問看護事業者実態調査について
6）各県地区役員等研修について
7）平成 30 年度災害支援ナース派遣調整合同訓練
8）4 職能委員会及び災害看護検討委員会合同会議結果
3　管理的事項
1）理事会議事録について
2）研究倫理委員会の開催について
3）平成 31 年度慢性期看護学術集会の開催準備について
4　会員支援
1）平成 30 年度鹿児島県看護協会会員数及び会員専用ページ閲覧状況
2）キャリナースの構築について
3）ハーモニーランド冬季イベントについて
5 その他
次回：平成 30 年 10 月 20 日午前 9 時 30 分 運営委員会
平成 30 年 11 月 2 日午後 1 時～日本看護協会支部役員研修会

※毎回、日本看護協会理事会報告、職能委員会報告、地区報告、地区長情報交換会報告を口頭で、委員会報告他団体会議報告、県外出張報告を書面で行っています。

看護専門職として社会に貢献しよう　会員の増加と福祉の向上のため活動しよう

編集後記

朝夕は暑さも和らぎ過ごしやすくなってきました。今年は台風の影響で様々な所に被害がありました。自然災害には勝てませんが、災害への準備は万端にしておきたいものですね。

広報委員一同

公益社団法人
鹿児島県看護協会
Kagoshima Nursing Association
鹿児島市鴨池新町21-5
TEL.099-256-8081　FAX.099-256-8079
URL　http://k-kango.jp
E-mail　kakankyo@orange.ocn.ne.jp